

第1回 ペット防災管理士育成講座 開催



環境省では、災害時の「ペット同行避難」を勧めています。一般には知られていないのが現状です。また、ペットの災害対策に関する意識や周知は低く、災害時に混乱が予想されます。災害からペットを守れるのは飼い主さんだけです。その為の「飼い主としての日頃からの備え」と「ペット同行避難」の啓発を行うのが「ペット防災管理士」です。

日時 2016年9月17日(土) 13:30~16:00

場所 コムズ5階 第5会議室(松山市三番町6-4-20)

主催 認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会

講師 認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会
代表 高岸ちはり

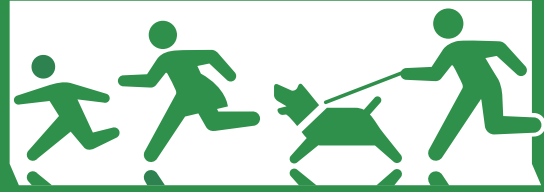
講演内容

- 災害弱者となる動物たち
- 東日本大震災の被災動物の現状
- 日頃からの災害への備え
 - 住まいの防災対策、家族での話し合い、ご近所・飼い主仲間との連携、地域情報の収集と避難訓練、健康管理としつけ、ペットのための備蓄品の用意
- 災害が発生した時の対応
 - 同行避難
- 避難所や仮設住宅での注意点
 - 周りの人への配慮

セミナー開催で申込制にしたのは、今回が初めてです。先着60名で締切りは9月14日にしていましたが締切りを越えても申込があり、最終申込数は74名になりました。座席は72席あり、当日来れない人もいだろうと全員受付しました。しかし、欠席者2名で入場者数は75名でした。ペット防災に関心がある人達が多いという事を実感しました。



ペット同行避難 – Evacuation with a pet –



会場は、NHKテレビのニュースと報道番組クルーが2組、あいテレビ、愛媛新聞社、産経新聞社さん達が取材に来てくれてもうギューギューです。終了後聞いたのですが、スタッフは入れる場所がなくて、会場の外に居たそうです。スタッフにも聞いてほしかったけど、また次回に・・・。

まずは、当会理事の酒井あいより、今回の講座開催は、平成28年度愛媛県NPO法人活動助成事業の「**ペットの災害対策に係る協働啓発**」の協働事業という説明を聞いてもらいました。その後、講座の前半に入りました。一番知ってほしい事!!「**ペット同行避難**」に関してのお話を進めていきました。

過去の災害、災害から身を守る為には・・・、同行避難をする為の準備、災害が起きた時のペット防災管理士の役割、東日本大震災の被災犬猫の話、飼い主としての日頃からの心掛け、ペット用の防災袋の準備等をスライドで紹介しました。皆さんメモをしたり、頷いたりと熱心に聞いていただきました。

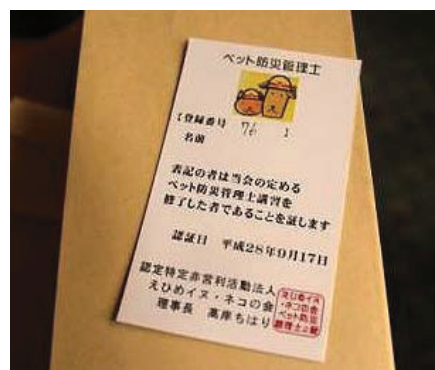
後半は、「**平常時の備え**」災害からペットを守るには!です。まずは、飼い主さんが防災対策を行い、ペットの防災対策も考えていただく事。助け合える犬猫仲間を作る事。万が一の時の為に、SOSカードを作る事。などなど。講座を撮影されている参加者もいらっしゃいました。どうぞ持ち帰って町内の皆様に紹介して下さい!そしてペットと一緒に防災訓練に参加をして、実際に体験する事の大切さを話しました。

スライドでは、えひめイヌ・ネコの会が主催した「ペットと一緒に防災訓練」の様子、「松山市総合防災訓練」の様子を紹介しました。

最後に「ペット防災管理士」の終了証明書を代表で、Sさん親子に手渡して「ペット防災管理士育成講座」を終了しました。皆さん、ペット防災管理士証明書を手にして嬉しそうです。満席の参加者で、熱心な反応、今日の「ペット防災管理士育成講座」を開催して本当に良かったと思いました。



会場の外には、犬と持ち出し袋の紹介





ペット同行避難 管理士育成講座

松山で初開催

災害時に飼い主とペットが一緒に逃げる「同行避難」などを推進する「ペット防災管理士」の育成講座が17日、松山市三番町6丁目のコムズであり、飼い主や地域団体、行政関係者ら約70人が避難時の留意点や日ごろの備えなどを学んだ。

認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会（松山市）が独自に認定制度を考案し、県の補助を受け、初めて開催。受講者には認定証を交付した。

会の高岸ちはり代表が「残してきたペットが気になつて家に戻つて二次災害に遭い、救助した消防士もけがをした例がある」と述べ、一緒に避難する方法を考へておく必要があると強調。迷子になったときのため複数枚の写真を準備しておくことや、飼い主の住所や氏名を記した迷子札をつけておくよう要望した。

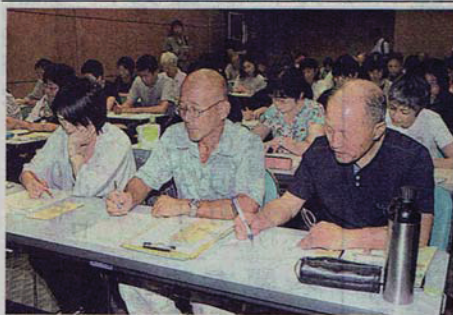
避難所生活に備え、基本的なしつけのほか、小型犬やネコはケージやキャリー

ボックスに慣れさせておくことも大切とした。

犬の飼い主で消防団員の砥部町北川毛、会社員大崎麻奈さん(33)は「災害時は犬やネコの対応は後回しという印象だが、知識を持つ人がいれば対応できる。備えを周りの人にも伝えていきたい」と話していた。

環境省や会によると、東日本大震災ではペットを置き去りにして餓死し、飼い主も後悔から体調を崩すケースがあった。災害時に野生化して人に危害を加えたり、繁殖して生態系に影響を与えたりする恐れもある。（丸岡裕美）

ペット防災管理士の講座を受け、認定テストに挑む参加者17日午後、松山市三番町6丁目



「ペット防災管理士」育成講座に70人

災害時同行避難に理解を



日頃の防災対策などを学んだ「ペット防災管理士」の育成講座—松山市

災害時にペットと一緒に行動する同行避難の普及・啓発に力を入れている認定NPO法人「えひめイヌ・ネコの会」（松山市）が、「ペット防災管理士」の育成講座を初めて開いた。環境省の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」でも推奨されている同行避難への理解を広めるのがねらい。同NPOは「講座で学んだことを地域に広めてほしい」としている。

同NPOは、災害時のペット避難に関するパンフレット作製や地域の防災訓練の中でペットとの避難訓練を実施するなど、同行避難への理解を広げる活動に取り組んでいる。一方で、4月の熊本地震など大規模災害が発生するたびにペットを連れられた被災者が避難所に入るのをためらうなどの問題も生じている。「ペット防災管理士」の育成講座は17日に同市内で

あり、ペット愛好家や自主防災組織の役員ら約70人が参加。同NPOの高岸ちはり代表(64)は「残したペットが気になり、家に戻って2次災害に遭った人もいる」などと事例を挙げ、同行避難の必要性を強調。飼い主の氏名や電話番号が書かれた迷子札をつけたり、ペットの写真をできるだけ多く撮影するなど日頃から災害時の備えも説明した。受講者には同NPOの「ペット防災管理士」の認定証が交付された。

同市の自営業、小坂知代子さん(49)は「ペット用の備蓄をするなど、日頃から防災対策を心掛けています。市民レベルでできることを広めていきたい」と話した。講座は来年以降も開く予定で、高岸代表は「災害時にペットを守るのには飼い主だけ。ペットと一緒に避難できることを多くの人に伝えてほしい」と呼びかけている。



リレーパネル展開催

9月17日(土)
ペット防災管理士育成講座
コムズ5階 第5会議室にて



9月24日(土)
愛媛県動物愛護フェスティバル
ひめぎんランドにて



11月1日(火)～3日(木・祝)
犬の日イベント
松山市総合コミュニティセンターにて



11月5日(土)
松山市総合防災訓練
帝人(株)松山事業所 南地区ランドにて



11月7日(月)～30日(水)
愛媛銀行久米支店にて



12月6日(土)～7日(日)
第9回地域教育実践交流集会
国立大洲青少年交流の家にて



12月1日(木)～31日(土)
伊予銀行道後支店にて



12月23日(金・祝)
クリスマス★カーニバル
伊予三島商店街にて



1月7日(土)
「ささえ愛のペット防災」講演会
コムズ5階 大会議室にて



2月17日(金)～19日(日)
猫の日イベント
フジグラン重信にて

